

大宮地区地域ミーティング
(通算第76回)

| | |
|------|----------------|
| 開催日 | 平成27年5月16日(土) |
| 開催時間 | 午前10時～午前11時30分 |
| 会場 | はぐくみセンター |
| 参加者 | 33名 |



| 地 域 課 題 | 市 の 回 答 |
|--|--|
| 1. 既存の自治組織や商店街、NPO等も含めた広範な地域自治組織づくりのスキームと目指す組織体制について | 1. 地域でできることは地域で解決していく、「新たな公共」の担い手が「地域自治協議会」だと認識している。大宮地区では、自治連合会と社会福祉協議会が連携して、地域課題の解決に取り組んでいただき、本市の中でも進んだ状況である。市は、地域アドバイザーの派遣などの支援をしていきたい。地域で状況が違うので、市内の地域全体で一斉、または何地区の選択で行うか、調整している。今後は、条例化も進めていきたい。 |
| 2. 県営プール跡地開発プロジェクトについて | 2. 同プロジェクトは県が主体となり、昨年国際級ホテル誘致事業について事業者が決定した。市としても、観光を核とした地域の賑わいと産業の活性化、雇用の拡大を期待しているので、事業の進捗を見守っている。ただ、交通や治安の面で、地域にとってマイナスにならないようにしたい。 また、JR奈良駅西側のロータリーの整備等により、西口を玄関口に、賑わいを生み出したい。なお、同ホテルは半パブリックな存在であり、地域と連携する場面がいろいろあり、市としてもきちんと意見を出していきたい。 |
| 3. 西九条・佐保線4車線化事業について | 3. 大宮小学校から国道24号線までは完成している。同小学校から南へは、平成25年に着手、萬春堂から南へは、今年度中に着手していきたい。交差点が |

| | |
|---|---|
| <p>4. JR 駅西のにぎわい創出について、また、会議室としての貸館の一元管理について</p> <p>5. 避難行動要支援者への支援と見守りについて</p> <p>6. 前制度に基づいて要援護者名簿登録申請書を提出済みの方の扱いについて</p> <p>7. 子どもたちが抱える課題（いじめの問題等）を地域ぐるみで解決していく仕組みづくりについて</p> | <p>6箇所あり、大宮通りとの交差については、地下道にするか、歩道橋にするかを検討している。南側の交差点は、警察等と協議している。要望箇所全てに信号機を設置するのは難しいが、県とも協議していく。</p> <p>4. JR 奈良駅西のにぎわいのまちづくりについては、保健所・教育総合センター管理課が事務局となり、「はぐくみセンター（奈良セミナー）大宮地区のまちづくりを考える」や、「はぐくみナイトカルチャー（落語と若草山焼き）」などの事業を実施している。引き続き地域の参画を得ながら協力していきたい。会議室の一元管理については、関係課と調整する。</p> <p>5. 「奈良市避難行動要支援者支援プラン」に移行し、支援体制をより強化していく。避難行動要支援者の対象者は、災害時に自ら避難することが困難で、円滑かつ迅速な避難にあたって特に支援が必要な者とする。「常時一人ぐらして満年齢70歳以上」の方は、災害発生時に特に配慮が必要な方々に該当するので、地域でも配慮をお願いしたい。なお、宮跡庭園は、一次避難場所として使用可能であり、トイレ設置については、平成30年を目途に進めている。</p> <p>6. 新しい制度になり名簿から漏れ落ちる人については、民生児童委員に引き続き把握をいただくことになる。現在は名簿を更新されていないので、把握していただくための方法については、検討中である。新しい対象者と新しいやり方は決まっているが、前の制度とのギャップをどうするかは全庁的な取り組みで詰めていく。</p> <p>7. コミュニティスクールにおいては、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みを作るということで、説明いただいている。いじめや不登校など学校だけでは解決が難しい問題に関しては、学校と地域で迅速に情報を共有し、役割分担をすることで、どうしていくのかを考える。</p> |
|---|---|

| | |
|--|---|
| <p>8. 放課後子ども教室とバンビーホームの一体的な運営、乳幼児の親を対象とした取り組みの実施など、地域の子育て支援策について</p> | <p>8. 大宮放課後子ども教室は、コーディネーターを中心に小学校において様々な事業を行っていただいた。バンビーホーム等と一体的な運営をしている他都市の事例も参考にしながら、調査、検討する。 三笠中学校区は、すべての小、中学校がコミュニティースクールの指定を受けており、学校運営協議会が意見を述べるができる。最終的には、更に法制化して展開していきたい。</p> |
| <p>9. 地域包括ケアシステムなどへの地域の関わり方について</p> | <p>9. 地域包括ケアシステムの構築を目指し、市内11か所において、地域包括支援センターを軸としたネットワークづくりをしたい。認知症対策の強化に取り組む。また、高齢者の見守りネットワークの設置や行方不明を予防するしくみづくり、「認知症初期集中支援チーム」を設置する予定である。地域の方々には、市の取り組みに積極的に参加していただきたい。また、地域の方の参加をより得られるようにポイント制度も刺激材料として仕組みを作っていきたい。</p> |
| <p>10. 市から民生委員への、70歳以上の独り暮らしの方の名簿の提供について</p> | <p>10. 担当課で検討し、対応していく。</p> |